

第1学年 ○単元名 いろいろなやりかたをくらべてかんがえよう「歯がぬけたらどうするの」

〔C 読むこと(1)カ〕 「楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。」

単元の指導計画 (13時間扱い)

|                  | 主な学習活動  |  | 言語活動に関する指導上の留意点  |                                      |
|------------------|---|--|--|--------------------------------------|
| 第<br>一<br>次<br>② | <p>◆学習の見通しをもつ。</p> <p>1 教材を読んで、内容の大体を捉え、初発の感想を発表する。</p> <p>2 ねらいを確かめ、学習の見通しをもつ。</p>   | い<br>ろ<br>い<br>ろ<br>な<br>国<br>の                                    | <p>○単元名や挿し絵をきっかけに、歯が生え替わったときのことを発表させ、課題意識をもたせる。</p> <p>○これまで歯が生え替わったときに、自分が経験したことと結びつけてみることで、感想を発表しやすくする。</p> <p>○世界のことが書かれた本のコーナーを作り、自由に読めるように図書環境を整えておく。</p>   | せ<br>か<br>い<br>の<br>こ<br>と<br>が      |
| 第<br>二<br>次<br>⑤ | <p>◆いろいろな国のやり方を読み取り、やってみたい方法を考える。</p> <p>1 日本ですることと、そこに込められた願いを読み取る。</p> <p>2 それぞれの国ですることや言う言葉を読み取り、やってみたい方法を考える。</p>   | や<br>り<br>方<br>を<br>読<br>み<br>取<br>り                               | <p>○それぞれの国ですることや言うことを表す言葉を見つける。</p> <p>○することや言うこと、願いと観点を明確にし、大事な言葉を見つけやすくする。個人差に対応し、抜き出すことを苦手とする児童も興味をもってできるように、ワークシートを工夫する。</p>   | 書<br>か<br>れ<br>て<br>い<br>る<br>本<br>を |
| 第<br>三<br>次<br>⑥ | <p>◆日本と外国の暮らしの中で、習慣が違うことについて興味をもったことを調べてまとめ、発表し合う。</p> <p>1 どんな習慣の違いがあるか、本を読んで探す。</p> <p>2 教科書を参考に興味をもったことについて説明する文章を書く。</p> <p>3 簡単な絵に描き、それを使って説明する練習をする。</p> <p>4 絵を見せながら、なぜそれを選んだか理由も合わせて話すようにする。</p> <p>5 聞き手は、感想を述べたり、質問したりする。</p> | 自<br>分<br>な<br>ら<br>ど<br>う<br>す<br>る<br>か<br>を<br>考<br>え<br>よ<br>う | <p>○教科書で紹介された習慣の違いから興味をもったことについて、自由に読み調べられるように図書環境を整えておく。</p> <p>(「まるいちきゅうのまるいちにち」「世界のあいさつ」「うしはどこでも『モー!』」等)</p> <p>○発表会に向けて、紹介することの構成や内容、発表の仕方に関する指導を加えていく。</p> <p>○自分で選んだ内容とそれを考えた理由が書きやすいように教材文を参考にした、ワークシートを用意する。</p> | 読<br>む                               |

第1学年 ○単元名 おはなしをたのしんでよもう「サラダでげんき」

〔C 読むこと(1)ウ〕「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」

単元の指導計画 (15時間扱い)

|              | 主な学習活動   |                         | 言語活動に関する指導上の留意点   |                    |
|--------------|--|-------------------------|---|--------------------|
| 第一<br>次<br>③ | <p>◆学習の見通しをもつ。</p> <p>1 新出漢字、片仮名の練習をする。</p> <p>2 物語を通読して話の大体をつかみ、心に残ったことを発表し合う。</p> <p>3 「おおきなかぶ」の「大好きボックス」を紹介し、学習の進め方を知る。</p>                             | 友達に「○○○○、大好きボックス」を紹介しよう | <p>○新出漢字8文字とカタカナの読み書きができるようにする。</p> <p>○紙芝居のように挿し絵を活用しながら、動物が登場した順序を確認できるようにする。</p> <p>○「大きなかぶ」の話で好きだったところを発表させ、教師が気に入ったところと理由を書いたカードを紹介し、学習の見通しをもたせる。</p> <p>○同じ作者や食べ物を題材にした本のコーナーを作り、自由に読めるようにしておく。</p>                             | 同じ作者や食べ物を題材にした本を読む |
| 第二<br>次<br>⑦ | <p>◆登場人物の行動を中心に、場面の様子を読み取り、「お気に入りカード」にまとめて「大好きボックス」を作る。</p> <p>1 登場した動物の行動やりっちゃんの思いを読み取る。</p> <p>2 「お気に入りカード」に書く。</p> <p>3 「大好きボックス」にまとめ、読み合い、感想を交流する。</p> |                         | <p>○音読や動作化を取り入れることで言葉の語感やリズム感を味わって読むことができるようにする。</p> <p>○人物の言葉や行動に着目させ、場面の様子や気持ちについて想像を広げることができるようにする。</p> <p>○自分が気に入った文や表現を、理由を添えて文や絵で「お気に入りカード」にまとめることができるようにする。</p>  |                    |
| 第三<br>次<br>⑤ | <p>◆「○○○○、大好きボックス」を作り、交流する。</p> <p>1 「お気に入りカード」に書きためたものを「大好きボックス」にまとめる。</p> <p>2 紹介の仕方をもとに話す準備をする。</p> <p>3 簡潔に紹介した後、読み合い、感想を交流する。</p>                     |                         | <p>○読んで楽しかった本を選び、自分が気に入った文や表現を、理由を添えて文や絵で「お気に入りカード」にまとめることができるようにする。</p> <p>○お気に入りカードを読み返し、話のイメージから箱を装飾して大好きボックスを完成させるようにする。</p> <p>○お気に入りカードに書いたところとその理由が伝わるように順序立てて話す事ができるようにする。</p> <p>○「大好きボックス」の紹介を聞いたり、読み合ったりして感想が言えるようにする。</p> |                    |

第2学年 ○単元名 お気に入りの場面をペープサートで紹介しよう 「スイミー」

〔C 読むこと(1)ウ〕「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」

単元の指導計画 (10時間扱い)

|          | 主な学習活動  |                    | 言語活動に関する指導上の留意点   |                        |
|----------|---|--------------------|---|------------------------|
| 第一次<br>① | <p>◆学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「ふきのとう」の読み聞かせを聞き、好きなところやおもしろいと思ったところ、そう思ったわけを発表し合う。</p> <p>2 教師のペープサート劇を見て、「お話のお気に入りの場面をペープサートで紹介しよう。」という学習課題を設定する。</p>   | 好きな場面をペープサートで紹介しよう | <p>○教材文の挿し絵を活用することによって、場面の様子を思い浮かべられるようにする。</p> <p>○事前に「ふきのとう」での学習を振り返らせ、好きなところやおもしろいと思ったところとそのわけを、発表できるようにしておく。</p> <p>○多くの児童の心に残っている場面をとりあげて演じ、言語活動の見通しをもてるようにする。(簡単なペープサート劇を演じることによって、その方法を理解し、「やってみたい」という意欲をもつことができるようにする。)</p> | 同じ作者・レオ・レオニの書いた本を読み味わう |
| 第二次<br>⑥ | <p>◆「スイミー」を読み、好きな場面やおもしろいと思った場面をペープサートで紹介する。</p> <p>1 「スイミー」の話の展開や登場人物などを押さえながら通読する。</p> <p>2 好きな場面やおもしろいと思った場面、そう思ったわけをまとめて発表し合う。</p> <p>3 3つの場面ごとに、「この場面だったら、どこが好き？おもしろい？」「それはどうして？」を考えながら、登場人物の行動や場面の様子を読み取る。</p> <p>4 お気に入りの場面を選び、その理由について登場人物の行動と会話に着目して考える。</p> <p>5 お気に入りの場面を、登場人物の行動と会話を基にペープサート劇で演じて紹介し合う。</p> |                    | <p>○まずは、初読でどの場面や描写が心に残ったのか、なぜその場面が心に残ったのか、自由に書かせておき、第二次の終末と比較できるようにする。</p> <p>○展開全体の中で場面の様子がつかめるように、通読を繰り返す。</p> <p>○好きな場面、おもしろいと思った場面を選ぶために読む・・・という主体的な意識をもたせることで、登場人物の行動や会話、場面の様子に着目できるようにする。</p>                                 |                        |
| 第三次<br>③ | <p>◆レオ＝レオニの作品を読んで、好きな物語→好きな場面を選んで、ペープサート劇で紹介し合う。</p> <p>1 好きな物語→好きな場面を選ぶ。</p> <p>2 ペープサート劇の動きとセリフの大体を考える。</p> <p>3 グループに分かれてペープサート発表会を行い、感想を発表し合う。</p>  |                    | <p>○並行して読んできたレオ＝レオニの作品から、自分の好きな物語を選び、登場人物の会話や行動からお気に入りの場面を決め、その理由を考えられるようにする。</p> <p>○好きな場面を中心に、選んだ物語を繰り返し読みながら、ペープサートの動きや会話を考えられるようにする。</p> <p>○ペープサート劇を見て感じたことについて、人物の行動やセリフの面白さを中心に感想を交流させ、いろいろな感想や感じ方があることに気付かせる。</p>           |                        |

第2学年 ○単元名 1年生にべんりグッズを紹介しよう 「ふろしきは、どんなぬの」

〔C 読むこと(1)イ〕「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」

〔C 読むこと(1)エ〕「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」

単元の指導計画 (12時間扱い)

|                  | 主な学習活動  |   | 言語活動に関する指導上の留意点   |   |
|------------------|---|---|---|---|
| 第<br>一<br>次<br>① | <p>◆学習の見通しをもつ</p> <p>1 絵本の読み聞かせやふろしきで包む実演を見る。</p> <p>2 教材文を音読し、2種類の説明の文と文章が用いられた場面を理解する。</p> <p>3 これからの学習の進め方を知る。</p>   | 一<br>年<br>生<br>に<br>べ                               | <p>○絵本の読み聞かせやふろしきで包む実演を見ることを通して、教材文への読みの意欲を喚起する。</p> <p>○同じものを説明しているのに、なぜ説明の仕方が違うのかを簡単に考えさせる。</p> <p>○単元の指導計画を提示することによって、単元全体の学習の見通しをもたせる。</p> <p>○日本の道具について書かれた本のコーナーを作り自由に読めるようにしておく。</p>   | 日<br>本<br>の<br>道<br>具<br>に<br>つ<br>い<br>て |
| 第<br>二<br>次<br>⑥ | <p>◆「ふろしきは、どんなぬの」の2種類の文と文章を比べて読み、特徴を理解する。</p> <p>1 2種類の文と文章とを比べて読む。</p> <p>2 なぜこのように2種類の文と文章の違いがあるのか考える。</p> <p>3 「質問」と「答え」の対応に気をつけて、分かったことを交流し合う。</p>  | ん<br>り<br>グ<br>ッ<br>ズ<br>を<br>紹<br>介<br>し<br>よ<br>う | <p>○文と文章を視写したり、一文読みをしたりして、児童に違いを実感的に捉えさせる。</p> <p>○サイドラインを引いて色分けすることでそれぞれの違いを視覚的に捉えさせる。</p> <p>○「どこで」「だれが」「何のために」読むかを考えることで、相手や目的に応じて説明の仕方に違いがあることを理解できるようにする。</p>  | 書<br>か<br>れ<br>た<br>本<br>を<br>読<br>む      |
| 第<br>三<br>次<br>⑤ | <p>◆「日本の道具」について書かれた本や文章を読んで、おもしろいと思ったことについて1年生に紹介する。</p> <p>1 おもしろい、紹介したいと思ったことの中から紹介する内容を決める。</p> <p>2 教材文の説明の仕方を参考にしたが、ら、「べんりグッズ」についての紹介文をまとめる。</p> <p>3 学級内で読みあって感想を交流し、自分のまとめたものを見直す。</p> <p>4 1年生を招待して、発表会をする。</p> |   | <p>○「日本の道具」について書かれている本を自由に読めるようにしておき、おもしろく、1年生に教えたかった道具を探せるようにする。</p> <p>○紹介する内容が分かりやすく伝わるように、箇条書きか文章で書くようにするか選択させる。</p> <p>○校内にある便利グッズの写真をいくつか提示し、その中から紹介したいことを選んでよいことを伝える。</p> <p>○出来上がったものを1年生に紹介する前に、学級内で読みあって感想を交流し、自信をもたせる。</p> <p>○「詳しく知らせたい」「簡単にわかりやすく」等、書き手のねらいが伝わるように発表させる。</p> |   |

第2学年 ○単元名 どうぶつのひみつを探ろう 「ビーバーの大工事」

〔B 書くこと(2)エ〕「紹介したいことをメモにまとめたり，文章に書いたりすること。」

〔C 読むこと(2)ウ〕「事物の仕組みなどについて説明した本や文章をよむこと。」

単元の指導計画 (13時間扱い)

|      | 主 な 学 習 活 動  |               | 言語活動に関する指導上の留意点  |               |
|------|--|---------------|--|---------------|
| 第一次① | <p>◆学習の見通しをもつ</p> <p>1 ビーバーについて知っていることを話し合う。</p> <p>2 教材文を読み，内容の大体をつかむ。</p> <p>3 教材文を読み，初めて知ったことや，もっと知りたいこと，すごいと思ったことを書く。</p> <p>4 「動物の“すごい”をポスターを作って紹介する」ことを知らせる。</p>             | みんなに動物の“すごい”を | <p>○ビーバーの特徴が表現されている言葉に注意しながら読むようにする。</p> <p>○自分の心に残った言葉や，初めて知ったことなどを書いておくようにする。</p> <p>○どんな“すごい”についてどのようにまとめるかを考えられるよう，教師が作ったポスターを見せて学習意欲を喚起する。</p> <p>○動物について書かれた本や図鑑のコーナーを作り，自由に読んだり調べたりできるようにしておく。</p>  | 動物について書いて書かれた |
| 第二次⑤ | <p>◆大工事を行うビーバーの様子やビーバーの知恵を読み取り，“すごい”と思うところを見付ける。</p> <p>1 木をかじって倒す様子</p> <p>2 切り倒した木を運んで泳いでいく様子</p> <p>3 ダムを作る様子</p> <p>4 湖の中に巣を作る知恵</p> <p>5 “すごい”と思うところについて，交流し感想を発表する。(絵と文)</p> | ポスターにし        | <p>○木を倒す場面では，擬態語「ぐいぐい」や擬声語「ガリガリ」「ドシーン」などに着目させることによってイメージできるようにする。</p> <p>○木のかじり方を動作化させて理解させるようにする。(動作化を通して木のかじり方が理解できるようにする。)</p> <p>○切り倒した木をどうするのか，ダム作りの順序などサイドラインを引いて読み取れるようにする。</p>   | た本や図鑑を        |
| 第三次⑦ | <p>◆動物について調べ，動物の“すごい”をポスターでまとめる。</p> <p>1 動物の本を選んで読み，“すごい”を探す。</p> <p>2 “すごい”をポスターにする。</p> <p>3 ポスターを使って動物の“すごい”を紹介する。</p> <p>4 感想を話し合い，交流する。</p> <p>5 学習を振り返る。</p>                | て紹介しよう        | <p>○並行読書を通して見付けた動物の“すごい”の中から，友達に紹介したいことを決める。(関連図書：「ふしぎ・びっくり！こども図鑑 どうぶつ」「どうぶつ ほにゅうるい/はちゅうるい」「動物のくらし」等)</p> <p>○付箋に大事な言葉や，初めて知ったことなどを書き抜くようにする。</p> <p>○ビーバーの“すごい”を参考にしながら，他の動物の“すごい”を探せるようにする。</p> <p>○みんなに紹介するという目的意識をもち，最後まで意欲的に学習できるように，良いところをほめたり，さらに良くするための助言等をしったりする。</p> | 読んで情報を集める     |

第3学年 ○単元名 こん虫のひみつをさぐる 「自然のかくし絵」

〔C 読むこと(1)イ〕「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を読むこと。」

単元の指導計画 (7時間扱い)

|          | 主な学習活動  |       | 言語活動に関する指導上の留意点   |           |
|----------|---|-------|---|-----------|
| 第一次<br>① | <p>◆学習の見通しをもつ</p> <p>1 「自然のかくし絵」という題名や写真からこれからの学習に対して興味や関心をもつ。</p> <p>2 段落の意味を理解し、大まかな文章構成をとらえる。</p>  | こん虫   | <p>○「かくし絵」の作品から題名の意味を連想させて話し合う。写真を見て気付いたこと、考えたことを話し合い、本単元学習への関心をもてるようにする。</p> <p>○段落の意味を理解させ、形式段落に番号をつけて文章構成に目を向けさせる。</p> <p>○こん虫の生態について書かれた本のコーナーを作り、自由に読めるようにしておく。</p>  | こん虫の生態    |
| 第二次<br>③ | <p>◆「自然のかくし絵」を読み、こん虫のひみつを探る。</p> <p>1 保護色とは何か。</p> <p>2 保護色の役割と具体例</p> <p>3 保護色が役に立つ場合、役に立たない場合</p> <p>4 こん虫のひみつについて分かったことをまとめ、発表し合う。</p>   | のひみつを | <p>○形式段落②, ③, ④を読み、ワークシートに読み取ったことや感想を書かせる。感想のモデルを示し、書く時の抵抗を軽減したり、バリエーションを広げさせたりするように支援する。</p> <p>○形式段落⑤, ⑥, ⑦を読み、ワークシートに読み取ったことや感想を書いて、自分の考えを述べたり、友達の考えと比較し合ったりさせる。</p> <p>○形式段落⑧～⑩を読み、前時と同様の活動をする中で、段落相互の関係を考えさせる。</p> | について書かれた本 |
| 第三次<br>③ | <p>◆こん虫の生態について書かれた本を読み、興味をもったこん虫のひみつを探って文章にまとめ、隣の学級の友達に紹介する。</p> <p>1 こん虫の生態について書かれた本の中から興味をもったこん虫を選ぶ。</p> <p>2 教材文を参考にしながら、紹介するこん虫のひみつについてまとめる。</p> <p>3 まとめた紹介文を友達同士で読み合い、感想を交流する。</p> <p>4 隣の学級の友達に、自分が見つけたこん虫のひみつを紹介する。</p> | さぐる   | <p>○こん虫の生態について書かれた本を読んで、興味をもったこん虫の生態について、紹介したいと思ったものを探せるようにしておく。</p> <p>○「自然のかくし絵」の文章構成や1年「いろいろなふね」の文章構成と比較し、3段構成に着目させ、分かりやすい紹介文の書き方に気付かせる。</p> <p>○必要に応じて絵や図なども書き添えてよいことを伝える。</p>                                      | を読む       |

第4学年 ○単元名 ゆめのロボットについて考えよう 「ゆめのロボット」を作る

〔C 読むこと(1)イ〕「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、読むこと。」

〔C 読むこと(1)エ〕「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」

単元の指導計画 (8時間扱い)

|          | 主な学習活動   |  | 言語活動に関する指導上の留意点   |  |
|----------|--|--|---|--|
| 第一次<br>① | <p>◆学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「ロボットという言葉から連想できること」について発表し合う。</p> <p>2 『ゆめのロボット』について考えよう」という学習課題を設定する。</p>  | ゆ<br>め<br>の                                    | <p>○「ロボットから連想できること」「知っているロボットは」「そのロボットを使うとどんなことが便利になるか」等、児童のロボットに対する考えを事前調査によってとらえておく。それをもとに本単元の学習の見通しがもてるようにする。</p> <p>○ロボットについて書かれた本のコーナーを作り、自由に読めるようにしておく。</p>   | ロ<br>ボ<br>ッ                                    |
| 第二次<br>④ | <p>◆『ゆめのロボット』を作る」を読み、ポスターにまとめて紹介し合う。</p> <p>1 筆者の考える「夢のロボット」とは、どんなロボットか読み取る。</p> <p>2 説明文『着るロボット』を作る」を読んで、「マッスルスーツ」について読み取る。</p> <p>3 説明文『着るロボット』を作る」を読んで「アクティブ歩行器」について読み取る。</p> <p>4 「マッスルスーツ」か「アクティブ歩行器」のどちらかをポスターにまとめて、紹介し合う。(ポスターセッションを行う。)</p>              | ロ<br>ボ<br>ッ<br>ト<br>に<br>つ<br>い<br>て<br>考<br>え | <p>○筆者の「自分の体を自分で動かしたいという人の気持ちにこたえたい、心の面でも人を助けたい。」という願いをおさえ、「ゆめのロボット」とはどのようなものなのか、具体的なイメージをもたせ、本単元の学習からかけはなれた活動にならないようにする。</p> <p>○ポスターの裏面(説明)に、それぞれについて読み取ったことがそのまま活用できるようなワークシートを工夫し、説明文の読み取り(まとめ方)に意味をもたせる。<br/>(「どんなロボットか」「使う人」「可能性《どんなことができるようになるか》」「使う人の願い」「筆者の願い」がまとめられるようなワークシート)</p> <p>○教材文の読み取り(まとめ方)を活かせるようなワークシートにまとめさせる。</p> | ト<br>に<br>つ<br>い<br>て<br>書<br>か<br>れ<br>て<br>い |
| 第三次<br>③ | <p>◆「ぼく・わたしが考える『ゆめのロボット』」を考えてポスターにまとめ、紹介し合う。</p> <p>1 ロボットについて書かれている本や文章を読んで、自分の考える夢のロボットの参考にする。</p> <p>2 教材文を参考にしながら、自分が考えるゆめのロボットについて、ポスターにまとめる。</p> <p>① どんなロボットか。<br/>② どんな人が使うのか。<br/>③ どんなことができるか。<br/>④ 使う人の願い<br/>⑤ ぼく・わたしの願い</p> <p>3 ポスターセッションを行う。</p> | る  | <p>○ロボットについて書かれた本や文章を自由に探したり(インターネットの活用)読んだりできるようにしておき、自分が紹介したいロボットの参考にできるようにする。<br/>(「冒険ファンタジー⑩ うそつきロボット」「きまぐれロボット」「ものぐさトミー」等)</p> <p>○第2次での学習を活かせるようなワークシートを作成してまとめさせる。</p> <p>○ポスターセッションの中で、友達の考えを聞き合うことを通して、自分たちの生活とロボットとの関係に対する考えを深められるようにする。</p>  | 本<br>を<br>読<br>む                               |

第4学年 ○単元名 暮らしの中の世界について調べよう 「暮らしの中の和と洋」

〔C 読むこと(1)エ〕「目的や必要に応じて文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」

〔B 書くこと(1)イ〕「文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。」

単元の指導計画（9時間扱い）

|                  | 主 な 習 活 動  |   | 言語活動に関する指導上の留意点   |   |
|------------------|--|---|---|---|
| 第<br>一<br>次<br>① | <p>◆学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「衣」「食」「住」の写真から、和と洋に分けられることに気付き、教材文の内容やこれからの学習に興味をもつ。</p> <p>2 教師の作ったガイドブックを見て、これからの学習について見通しをもつ。</p>   | 和<br>風<br>・<br>洋<br>風<br>な<br>る<br>ほ<br>ど<br>ブ<br>ッ<br>ク<br>を<br>つ<br>く<br>ろ<br>う | <p>○ガイドブックを見聞きしたり、和と洋の写真の仲間分けをしたりする活動を通して、和と洋、これからの学習に対する興味・関心を喚起する。</p> <p>○単元の最後に作るガイドブックの完成したものを見せることで、これからの学習の見通しをもてるようにする。</p> <p>○日本や外国の暮らしについて書かれた本や百科事典等のコーナーを作り、自由に読んだり調べたりできるようにしておく。</p>                           | 日<br>本<br>の<br>く<br>ら<br>し<br>に<br>つ<br>い<br>て<br>書<br>か<br>れ<br>た<br>本<br>や<br>辞<br>典<br>を<br>読<br>む |
| 第<br>二<br>次<br>④ | <p>◆「暮らしの中の和と洋」を読んで、和と洋の違いや良さに気付き、表現の工夫を見つける。</p> <p>1 大事な言葉を手がかりに段落の内容を読み取り、段落ごとの関係を考える。</p> <p>2 意味段落ごとに文章を要約し、意味段落と意味段落の関係をとらえる。</p> <p>3 文章全体を5つのまとまりに分け、どのような文章構成で書かれているか考え、筆者の表現の工夫について話し合う。</p> |   | <p>○段落相互の関係を考えられるように、指示語や接続語に着目して、教材文を読めるようにする。</p> <p>○中心となる語や文をとらえ、意味段落に分けることで文章構成に目を向けさせ、何について述べられている文章なのか短い文で要約させる。</p> <p>○意味段落ごとの要約文や書き出しの言葉を手がかりに5つのまとまりに気付かせる。</p>  |   |
| 第<br>三<br>次<br>④ | <p>◆暮らしの中の「和」と「洋」のちがいや良さを「なるほどブック」を作って5年生に伝える。</p> <p>1 暮らしの中の和と洋についてのテーマを決めて調べる。</p> <p>2 調べた内容を教材文の表現工夫を活かしてまとめる。</p> <p>3 5年生に自分がまとめた「なるほどブック」を紹介する。</p>  |   | <p>○身の回りの和と洋の「衣」と「食」についてテーマを決め、図書・資料や日常生活をもとに調べられるようにする。<br/>(関連図書：「国際理解にもやくだつ 日本の暮らし絵事典 年中行事から伝統芸能まで」「21世紀子ども百科 もののはじまり館」等)</p> <p>○テーマについて調べたことを効果的に使い、教材文で学んだ表現方法を活かして書けるようにする。</p> <p>○聞き手の反応を確かめながら分かりやすく発表できるようにする。</p> |   |



第5学年 ○単元名 メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう「テレビとの付き合い方」

[C 読むこと(1)ウ] 「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらい読んだりすること。」

単元の指導計画 (7時間扱い)

|          | 主な学習活動  |                                    | 言語活動に関する指導上の留意点  |                     |
|----------|---|------------------------------------|--|---------------------|
| 第一次<br>① | <p>◆学習の見通しをもつ。</p> <p>1 教材のねらいを確かめ、教材文を読んで感想を交流する。</p> <p>2 課題「図を解読し、その図に当てはめて、自分の身近なメディアとの付き合い方をまとめ、発表しあう。」を設定する。</p>                            | 図を解読し、その図に当てはめて身近なメディアとの付き合い方を考えよう | <p>○導入に黒い部分と白い部分の図を提示し、課題意識をもたせる。</p> <p>○筆者の考えと自分の生活の中にある情報とを結び付けてみることを助言し、その上で考えたことや思ったことを感想として発表できるようにする。</p> <p>○メディアについて書かれた本のコーナーを作り、自由に読んだり調べたりできるようにしておく。</p>  | メディアについて書かれた本や文章を読む |
| 第二次<br>④ | <p>◆筆者の考えを読み取り、図について考える。</p> <p>1 全体の文章構成を考える。</p> <p>2 序論部分を読み取る。</p> <p>3 本論部分を読み取る。</p> <p>4 [資料]の写真について、図の黒い部分と白い部分に該当するところをとらえる。</p>         |                                    | <p>○筆者がたくさんのメディアの中からテレビを選んで述べていること理由を考えさせ、話し合わせる。</p> <p>○グラフを拡大提示し、話し合いの根拠にできるようにする。</p> <p>○図と文章の関係を明らかにして、筆者の考えを明確に捉えられるようにする。</p> <p>○写真を拡大したものと、全体と部分が分かるような穴あきシートを用意して重ね合わせ、分かりやすくする。</p>  |                     |
| 第三次<br>② | <p>◆メディアや情報について書かれた本や文章を読んで考えたことをまとめ、交流し合う。</p> <p>1 自分が見聞きしたものの中から、教科書の図に当てはまる事例を見つけ、教科書の図を参考にまとめる。</p> <p>2 各自がまとめたものを交流し合い、メディアに対する考えを深める。</p> |                                    | <p>○メディアについて書かれた本を読み、興味をもったことや、教材文と同じように図に当てはめて考えられることについて選んだり参考にしたりできるようにする。</p> <p>(「日本の産業まるわかり大百科⑥ 情報通信」「ニュースの現場で考える」等)</p> <p>○取り上げたメディアの特性、黒い部分の具体例、白い部分の具体例、どう付き合うべきかという自分の考えが書けるように、ワークシートを用意する。</p> <p>○友達の考えを聞き合う中で、自分が選んだもの以外でも同様のことが言えることを知り、考えを深められるようにする。</p> |                     |

第5学年 ○単元名 森林について興味をもったことを調べよう「森林のおくりもの」

〔C 読むこと(1)ウ〕「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらいち読みすること。」

〔B 書くこと(1)ウ〕「事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。」

単元の指導計画 (9時間扱い)

|          | 主な学習活動  |                   | 言語活動に関する指導上の留意点   |                      |
|----------|---|-------------------|---|----------------------|
| 第一次<br>① | <p>◆学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「森林ブックガイド」のモデルを見て、どのような内容をどのように説明したらよいかを理解する。</p> <p>2 教材文を通読し、森林についてもっと知りたいと思ったことをメモする。</p> <p>3 序論・本論・結論に分ける。</p>   | 森林ブックガイドを作って紹介し合う | <p>○既習の「本の引用の仕方」を振り返ったり「ブックガイド」のモデルを提示したりして、どのようなものを作っていくのか、見通しがもてるようにする。</p> <p>○図書環境を整え、もっと知りたいと思ったことについて、並行読書を通して探した本を活かして第三次に「ブックガイド」作りに取り組むことを伝え、単元の学習意欲を喚起する。</p>   | 森について書かれた本を読んで情報を集める |
| 第二次<br>⑤ | <p>◆内容と表現の工夫を考えながら、森林がどんなおくりものをしてきたかを読み取る。</p> <p>1 序論を読んで、どんな話題が提示されているか読み取る。</p> <p>2 本論1を読んで、森林がどんなおくりものをしてきたかを読み取り、まとめる。</p> <p>3 本論2を読んで、森林の「別のおくりもの」について読み取り、まとめる。</p> <p>4 結論を読んで、筆者の主張を読み取り、まとめる。</p> |                   | <p>○「ブックガイド」を作る上で大切になる、要点・要旨の読み取り方を押さえられるよう、文末表現や接続語に着目させる。</p> <p>○「別のおくりもの」とは何を意味しているのか、前時までの「おくりもの」と比べながら学習が進められるようにする。</p> <p>○題名と関連付けながら筆者はどのような主張をしているのか、考えられるようにする。</p>                                  |                      |
| 第三次<br>③ | <p>◆「森林ブックガイド」を作り、紹介し合う。</p> <p>1 「森林ブックガイド」を作るために、自分の目的に合った本を選ぶ。</p> <p>2 第二次で学んだことを活かしながら、「森林ブックガイド」を作成する。</p> <p>3 できあがった「森林ブックガイド」を友達同士で紹介し合う。</p> <p>4 「森林ブックガイド」を家族に紹介する。</p>                           |                   | <p>○並行読書を通して自分の目的に合った本を選ぶことができるようにしておく。<br/>(関連図書:「森は生きている」「森は地球のたからもの」)</p> <p>○「文章を引用する」「対比させながらまとめる」というまとめ方の工夫を意識させながら、「森林ブックガイド」をまとめられるようにする。</p> <p>○できあがった「森林ブックガイド」を、友達や家族に紹介することで、学習の達成感を味わえるようにする。</p> |                      |

第6学年 ○単元名 物語が強く語りかけてきたことを紹介しよう 「ばらの谷」

〔C 読むこと(1)エ〕「登場人物の相互関係や心情，場面についての描写をとらえ，優れた叙述について自分の考えをまとめること。」

〔C 読むこと(2)エ〕「本を読んで推薦の文章を書くこと。」

単元の指導計画 (7時間扱い)

|          | 主な学習活動   |                        | 言語活動に関する指導上の留意点  |                    |
|----------|--|------------------------|--|--------------------|
| 第一次<br>① | <p>◆学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「注文の多い料理店」の構成について想起する。</p> <p>2 最も心に残っている場面とその理由を発表し合う。</p> <p>3 教師の、「注文の多い料理店」を読んで自分に最も強く語りかけてきた表現とその理由を紹介し，これからの学習の進め方を知る。</p>   | 物語が強く心に語りかけてきたことを紹介しよう | <p>○掲示資料を提示しながら，「設定」「展開」「山場」「結末」という物語の基本構成について確認できるようにする。</p> <p>○事前に「注文の多い料理店」を読ませ，最も心に残った場面を想起してその理由をまとめさせておき，発表できるようにしておく。</p> <p>○多くの児童の心に残っている場面をとらえておく。その場面と理由を紹介しながら，単元の学習の見通しをもてるようにする。</p>              | 職人の生き方をえがいた本を読み広げる |
| 第二次<br>④ | <p>◆「ばらの谷」を読み，物語が自分に最も強く語りかけてきたことをまとめ，交流し合う。</p> <p>1 「時」を表す言葉を手がかりに，「ばらの谷」を四つの部分に分け，構成をとらえる。</p> <p>2 中心人物の考えや心情を押さえながら，強く語りかけてきたことをまとめ，紹介し合う。(前半・後半)</p> <p>3 物語が最も強く語りかけてきたことについてまとめ，紹介し合う。</p> | 物語が強く心に語りかけてきたことを紹介しよう | <p>○「注文の多い料理店」を想起しながら，「時」や「出来事」を表す言葉を手がかりに，「設定」「展開」「山場」「結末」の4つの場面に分けて，全体の構成をとらえられるようにする。</p> <p>○全体の中で，中心人物の考えや心情がどのように変化したかをとらえることができるように通読を繰り返す。</p> <p>○物語が自分に最も強く語りかけてきた文や表現を選び，その文や表現を選んだ理由を考えられるようにする。</p> | 職人の生き方をえがいた本を読み広げる |
| 第三次<br>② | <p>◆自分が読んだ物語の中から，強く語りかけてきたことについてまとめ，紹介し合う。</p> <p>1 好きな物語を選び，強く心に語りかけてきた場面を読みながら，その理由を考える。</p> <p>2 物語が強く語りかけてきた場面とその理由をまとめ，紹介し合う。</p>   |                        | <p>○並行して読んできた物語から，自分の好きな作品を選び，中心人物の会話や行動から，物語が最も強く語りかけてきたことや場面を決めるとともに，その理由を考えられるようにする。</p> <p>○自分の考えと比較しながら，友達の紹介を聞き，考えを深めたり広げたりする。</p>   |                    |

第6学年 ○单元名 「これからのわたしをささえるこの言葉」集を作って紹介し合おう

「伝えよう、大切にしたい名言」

[A 話すこと聞くこと(1)イ]「目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。」

単元の指導計画 (9時間扱い)

|                  | 主 な 学 習 活 動   | 言語活動に関する指導上の留意点  |                                 |
|------------------|---|--|---------------------------------|
| 第<br>一<br>次<br>① | <p>◆学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「これからどんな生活が待っているのか」「身近な人たちはどんな言葉をささえているのか」について考え、これからの学習に興味・関心をもつ。</p> <p>2 「“これからのわたしをささえるこの言葉”を見つけて、一冊の本にまとめ紹介し合おう。」という学習課題を設定する。</p>   | <p>○「これから」という言葉に着目させ、中学校生活に対する今の思いを発表し合う。(総合的な学習の時間のアンケートを活用する。)</p> <p>○身近な人たち(本校職員)の心に残る名言やそれにまつわるエピソード等をビデオで見聞きしたり、直接紹介してもらったりするのを見て、単元全体の言語活動の見通しをもてるようにする。</p>  | 名言・格言集やことわざ辞典等<br>目的に合った本や辞典を読む |
| 第<br>二<br>次<br>③ | <p>◆「伝えよう、大切にしたい名言」を読んで学習の進め方を知り、「これからの自分をささえる言葉」を見つける。</p> <p>1 どのようにその言葉を見つけたらよいかを理解する。</p> <p>2 見つけた言葉や文章をどのようにまとめたらよいか理解する。(取材カードの活用)</p>   | <p>○どのような方法で言葉を探したらよいか、メモを取るときのポイント(「名言」「取材先」「言った人」「意味」)、どのようにまとめたらよいか、教材文を活用することで具体的に理解できるようにする。</p> <p>○目的や意図に応じて書く事柄を収集し全体を見通して事柄を整理できるようにする。</p>   |                                 |
| 第<br>三<br>次<br>⑤ | <p>◆図書資料、インターネット、身近な人への取材、社会科の教科書等を使って、自分に合った名言を見つけ、「これからの自分をささえるこの言葉」集を作る。「これからの自分をささえるこの言葉」集にまとめたものをもとにスピーチし、交流し合う。</p> <p>1 自分に合った言葉や文章を選ぶ。</p> <p>2 見つけた名言を取材カードにまとめる。</p> <p>3 教材文を参考に、見つけた名言について、経験や考えを入れて文章にまとめる。</p> <p>4 各自がまとめた文章に加除修正し、スピーチ原稿を作る。</p> <p>5 「これからの自分をささえるこの言葉」を紹介し合い、感想を交流する。</p> | <p>○図書資料やインターネット、身近な人への取材、社会科の教科書、お気に入りの本(マンガも可とする。)など、朝の読書の時間等を使って自由に読めるようにしておく。</p> <p>○「選んだ理由・心に残ったところ」を明確にしてまとめさせることで、事実と感想・意見を区別して書く力を身に付けられるようにする。</p> <p>○まとめた文章に加除修正するという作業を通して、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることの必要性や効果に気付かせる。</p> <p>○聞き手に分かりやすいようにするにはどんな工夫をしたらよいかを考えさせ、ペアや小グループで互いに練習し合えるようにする。</p> <p>○自分の見つけた名言やその理由と比べながら聞くように働きかけ、良い時もつらい時にもそれぞれ支えてくれる言葉がある・・・等に気付かせる。</p> |                                 |

これからの自分をささえるこの言葉集を作って紹介し合おう

第6学年 ○単元名 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう 「ヒロシマのうた」

[C 読むこと(1)ウ]「目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。」

[B 書くこと(1)ウ]「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。」

単元の指導計画 (10時間扱い)

|                  | 主 な 学 習 活 動   |                    | 言語活動に関する指導上の留意点   |                       |
|------------------|---|--------------------|---|-----------------------|
| 第<br>一<br>次<br>① | <p>◆学習の見通しをもつ。</p> <p>1 書店の本の写真、実物の本の帯、本単元の第3次で作成し紹介したい本の帯のモデルから、読み手をひきつける本の帯の言葉について考える。</p> <p>2 原爆の写真や教材文の挿し絵から「ヒロシマのうた」の内容に関心をもち、「友達や先生方に“この本を読みたい!”と思わせる本の帯を作って紹介し合う。」という単元の学習について知る。</p>                                     | 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み | <p>○新刊本に添えられた本の帯や第3次で作成し、紹介し合う本の帯のモデルを提示することによって、読み手をひきつける言葉に着目させ、単元の学習に意欲をもつことができるようにする。</p> <p>○写真や挿し絵を活用することによって、戦争と人間の生き方をえがいた作品であることに気付かせる。また、図書環境を整えておくことによって、並行読書への興味を喚起させる。</p>   | 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げる |
| 第<br>二<br>次<br>⑥ | <p>◆自分の心に響く叙述を見付けながら、本の帯をまとめるという目的をもって「ヒロシマのうた」を読み、場面ごとに本の帯をまとめる。</p> <p>1 自分の心に響く叙述を意識しながら全文を通読し、感想をまとめる。</p> <p>2 場面ごとに、心に響いた叙述とそれに対する自分の考えを、本の帯にまとめ、紹介し合う。</p> <p>3 作品全体から、最も強く心に響いた叙述とそれに対する自分の考えを本の帯にまとめて紹介し合い、感想等を交流する。</p> | 本の帯を作              | <p>○本の帯をまとめるためには、登場人物の心情や場面の様子を考え、自分の心に響く叙述を見付けながら読むことを意識することが大切だということを押さえる。</p> <p>○本の帯をまとめるためのポイント(心に強く響いた叙述→それに対する自分の考え→読み手への呼びかけ)や、読み手をひきつける表現の工夫について必要に応じてモデルを提示しながら、具体的に指導する。</p> <p>○友達の読みと交流することで、多面的に作品のよさを明らかにできるようにする。</p> |                       |
| 第<br>三<br>次<br>③ | <p>◆戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げ、強く心に残った作品を選んで本の帯を作り、紹介し合う。</p> <p>1 自分の心に強く響く叙述を意識しながら、選んだ本を読み直す。</p> <p>2 最も強く心響いてきた叙述とそれに対する自分の考え、読み手への呼びかけ等の表現を工夫しながら、本の帯をまとめる。</p> <p>3 出来上がった本の帯を紹介し合い、“この本を読みたい!”と思えた本の帯を決める。</p>                  | って紹介し合おう           | <p>○心に響いてきたことを伝えるのにふさわしい言葉を用いてまとめているかどうか確認させる。</p> <p>○よいと感じた本の帯とその理由を交流する場を設定し、友達の心に響いた叙述やそれに対する友達の考えについて、自分自身の考えと比較させる中で、戦争と人間の生き方に対する考えを深められるようにする。</p>  |                       |